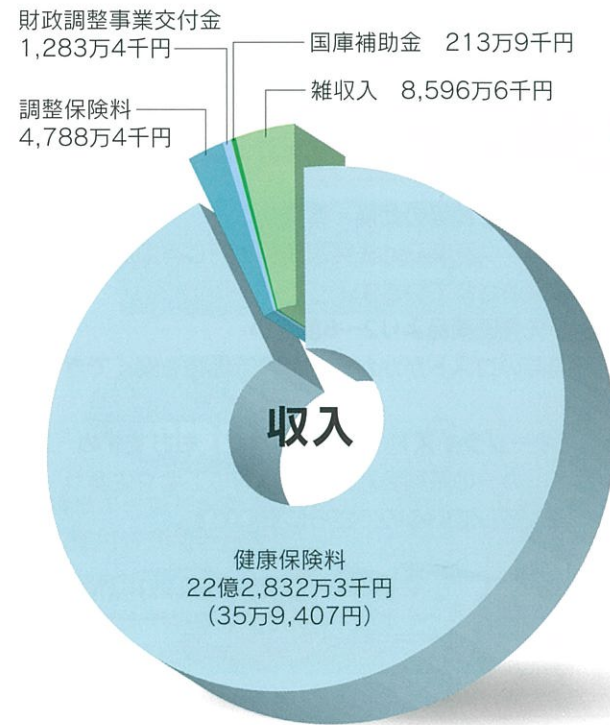


納付金(高齢者支援)が2年連続で大幅減額！ リスク保有者に対する保健指導強化！

健康保険勘定予算

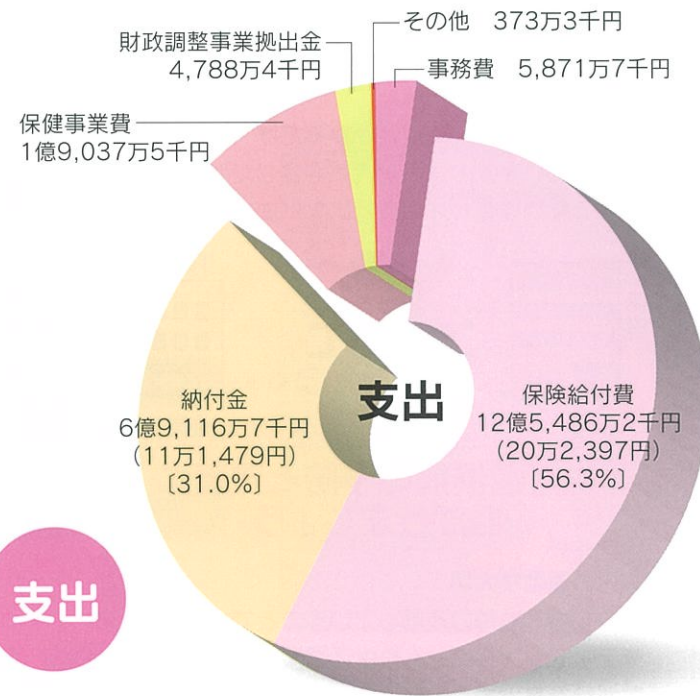
()は1人当たり額 []は保険料に占める割合



予算の基礎数値

年間平均被保険者数/人	6,200
平均標準報酬月額/円	332,939
標準賞与額/円	1,247,252
一般保険料率	6.853%
調整保険料率	0.147%
合計保険料率	7.000%

収入 23億7,714万6千円(38万3,411円)



22億4,673万8千円(36万2,377円) 支出

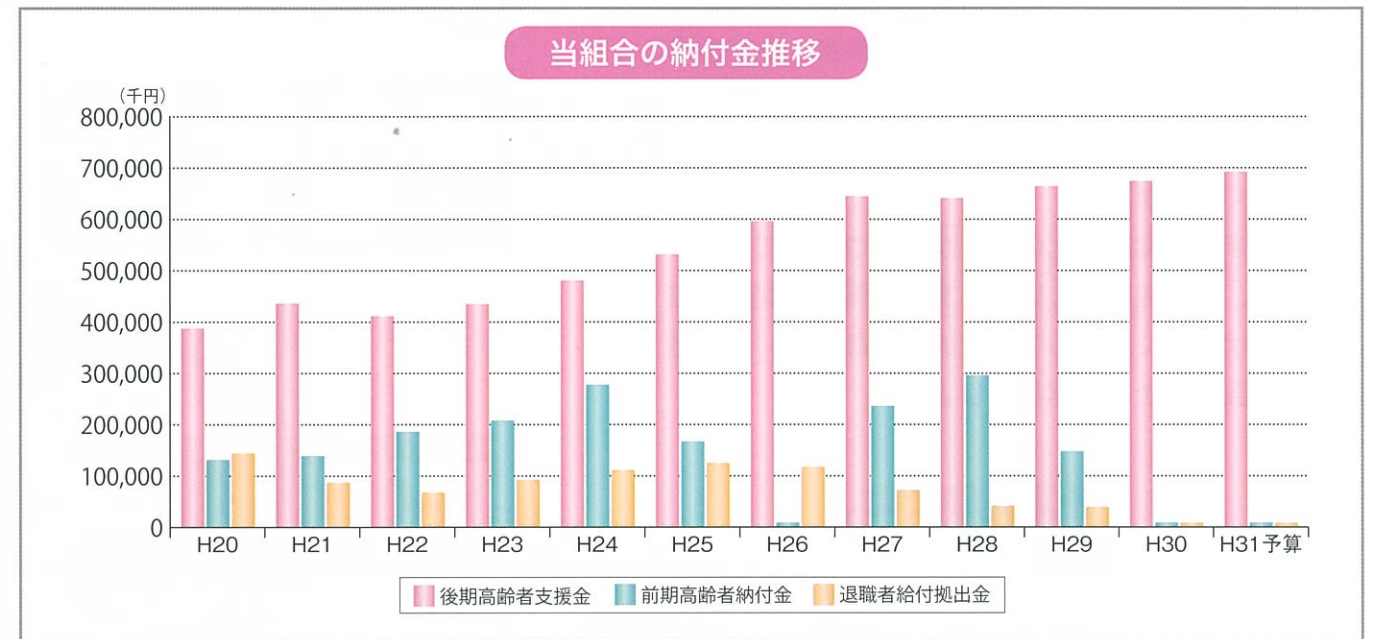
健康保険を取り巻く状況

政府が設置した「未来投資会議」の中で、厚生労働省と経済産業省は健康寿命の増進を目指し、健康・医療・介護の会合で①保険者インセンティブの強化、②保険者へのスコアリング通知、③健康経営を掲げています。

事業主(会社)と保険者(健保組合)がコラボして、従業員とその家族に対する健康増進施策を進めるよう、目で見える指標(スコアリングレポート・健康経営銘柄)をあげて具体的な実施を求めており、その評価をWebで公表し始めます。

当健保組合の財政状況

当健保組合に加入している前期高齢者の医療費が減少したため、納付金が2期続いて大幅に減少します。がんと循環器系の高額医療費の発生が増発していますが、保険給付費の増加傾向や保健事業費の強化などを含めても、収支差引は大きな黒字となります。



健診結果とスコアリングレポートから見る当健保組合の今後の課題

被保険者(本人)の40歳以上は、4人中3人がリスク保有者。40歳未満でも、5人中2人がリスク保有者。現在、全国平均より低い医療費支払いですが、将来は、リスク保有者の重症化やがんの増加により、医療費の激増が危惧されます。

また、スコアリングレポートでは、喫煙・飲酒・食事・睡眠・運動の生活習慣5項目では全国平均以下で、リスク保有者の重症化を予見しています。

がん検診と保健指導受診の必須化、健康教室など健康管理の重要性の啓発、禁煙サポートなどの導入を行い、生活習慣の改善を進め、労働力と人材確保の一助となることを健保組合の財政健全化の柱としていきます。

